

高知県立高知国際中学校 開校式

伊藤博明県教育長が開校宣言した後、尾崎正直知事が「第1期生の皆さんが歩む道が新たな学校の歩む道となる。国際中での学びを通じて夢がかなっていくよう祈念したい」と述べられました。



平成30年度高知県立高知国際中学校 入学式

入学式では、森本民之助校長が「これから飛び出すフィールドは地球。異なる価値観の文化を尊重し、グローバルな視点で考え行動しよう」と話されました。また、1-B 加治木 文音さんが生徒の代表として宣誓を行いました。

宣誓

やわらかな春の日差しと暖かい風に包まれた今日、私たち新入生六十名は、高知国際中学校の第一期生として、入学の許可をいただきました。入学にあたり、ごあいさつのはじめに、たくさんの方々への感謝の気持ちを述べさせていただきます。

まず、学校の開設にあたり環境を整えてくださった学校関係のみなさま、素敵な校舎を建ててくださった工事関係のみなさま、そして、私たちを笑顔で見守ってくれた、家族のみなさま。他にもたくさんの方々のご理解とご協力をいただいて今日の日があるのだと思います。本当にありがとうございました。

私たちが入学したこの学校は、今日開校したばかりの真新しい学校です。そして、その学習方法は、国際的な水準であるIB教育プログラムにのっとり行うという、全国でも珍しい学校です。そのような学校の最初の入学生になれたことを、大変幸せに思います。どのように学び、どんな可能性がひらけてくるのか、夢と希望で胸が高鳴ります。

これから始まる中学校での生活は分からないこと、未体験のことがたくさんで、夢と希望の反面、不安もあります。しかし、学びは一人でするものではなく、仲間たちと協力して、楽しみながら進めていくのだと思います。困った時や、迷った時には、先生方のご指導のもと、ここにいる六十名が、お互いに助け合い、知恵を出し合って解決していけると、信じています。そして、楽しみながら、迷いながら、日々進める一步一步が、この高知国際中学校ならではの文化をつくっていくのだと思います。

ここで、新入生を代表して、私の気持ちを世界で一番短い詩で表したいと思います。

『夢えがき 友と手を取り 一歩ずつ』



私たちの判断と行動の一つ一つがこの学校の評価となり、歴史となります。支えて下さるたくさんの方々と、高知国際中学校の名に恥じないよう、精一杯頑張っていきます。

また、新しい出会いを大切にして、自分と異なる考えの人にも、それぞれの正しさがあり得ると認め、友となることができる人として、感謝を忘れず、楽しく、そして、積極的に学んでいくことを、ここに誓います。

平成三十年四月八日
新入生代表 加治木 文音

